

41.597  
ZHZ

日汉对照

# 学徒之神

〔日〕志贺直哉著



上海译文出版社

日 汉 对 照

# 学 徒 之 神

〔日〕志贺直哉 著

楼适夷等 译

吴俗夫 注释

上海译文出版社

日汉对照  
**学徒之神**

【日】志贺直哉 著

楼适夷等 译

吴俗夫 注释

---

上海译文出版社出版

上海延安中路955弄14号

新华书店上海发行所发行

上海印刷六厂印刷

---

开本 787×960 1/32 印张 4.625 字数 95,000

1981年9月第1版 1981年9月第1次印刷

印数：1—15,500

书号：9188·117 定价：(六) 0.40元

## 内 容 提 要

志贺直哉(1883—1971)，日本著名小说家，1949年获日本“文化勋章”，主要作品有：《暗夜行路》、《和解》、《学徒之神》等。志贺的小说，文体简洁，语言精湛，运词严谨，具有浓厚的道义观念。

《学徒之神》通过描写东京某磅称铺学徒仙吉的故事，反映了作者的人道主义思想。作者因这篇小说的发表，被日本文坛誉为“小说之神”。

本书除《学徒之神》外，还收有《菜花和小女孩》、《篝火》等，共五篇短篇小说。

## 目 录

菜花和小女孩.....	2
十一月三日午后的事.....	18
学徒之神.....	46
篝火.....	88
灰色的月亮.....	130

## 菜の花と小娘

あ は しず はる ひ ごと ひとり  
或る晴れた静かな春の日の午後でした。一人  
こむすめ やま かれえだ ひら  
の小娘が<sup>1</sup>山で枯枝を拾っていました。

やがて、夕日が新緑の薄い木の葉を透かして  
あかあか み ころ こむすめ あつ こえた  
赤々と見られる頃になると、小娘は<sup>2</sup>集めた小枝  
ちい ぐきはら も だ そこ じぶん せお  
を小さい草原に持ち出して、其処で自分の背負  
つて来た荒い目籠に詰め始めました。

ふと こむすめ だれ じぶん よ  
不図、小娘は誰かに自分が呼ばれたような気が  
しました<sup>3</sup>。

「ええ<sup>4</sup>？」小娘は思わずそう云って、起ってそ  
へん みまわ そこ だれ すがた み  
の辺を見廻しましたが、其処には誰の姿も見え  
ませんでした。

わたし よ だれ こむすめ いちど おお こえ  
「私を呼ぶのは誰？」小娘はもう一度大きい声  
でこう云って見ましたが、やはり答える者はあ  
りませんでした。

1. {が} (格助词) 故事中第一次出现的人物 (主語) 要用  
“が”表示。 2. {は} (提示助词) 这里代替“が”，表示主語。

## 菜花和小女孩

在一个明媚寂静的春日午后，小女孩独个儿在山上拾枯枝。

不久，夕阳透过新绿，照得大地一片通红，小女孩把拣来的小树枝捧到小草坪上，装进自己背来的大竹筐里。

突然，小女孩感到有人在叫她。

“喂？”小女孩不觉问道，站起身环顾四周，但是周围什么人也没有。

“谁叫我？”小女孩又大声问了一遍。可是仍然没人应答。

---

故事中再次出现的人物(主语)要用“は”表示。△昔、昔ある山の麓におじいさんとおばあさんがありました。ある日、おじいさんは山へ柴刈に行きました。おばあさんは川へ洗濯に行きました……/在遥远的古时候，某山脚下，住着一个老爷爷和一个老奶奶。有一天，老爷爷上山去打柴，老奶奶到河边去洗衣服……。

3. (よような気がしました) (惯用型) 意为“觉得”、“仿佛感到”。△だれかがノックしているような気がする/觉得好象有人在敲门。

4. (ええ) (感叹词) 表示惊讶、应答等。△ええ、それはなんだ/喂？那是什么？

こむすめ に さんど き が して<sup>5</sup>、 はじ め て き が つ  
く<sup>6</sup>と、それは雑草の中から只一ト本<sup>7</sup>、 僅に首  
を差し出している小さい菜の花でした。

こむすめ あたま かぶ てぬぐい かお あせ ふ  
小娘は頭に被っていた手拭で、顔の汗を拭き  
ながら、

「お前、こんな所で、よく淋しくないのね<sup>8</sup>」と  
云いました。

「淋しいわ<sup>9</sup>」と菜の花は親しげに<sup>10</sup> 答えまし  
た。

「そんなら何故来たのさ<sup>11</sup>」小娘は叱りでもす  
るような調子で云いました。菜の花、

「雲雀の胸毛に着いて来た種が此処で零れた  
のよ<sup>12</sup>。困るわ」と悲しげに答えました。そして、  
どうか私をお仲間の多い麓の村へ連れて行って  
下さい<sup>13</sup>と頼みました。

こむすめ か わいそう おも こむすめ な はな  
小娘は可哀相に思いました。小娘は菜の花の

- 
5. (気がして)(慣用語)意为“有心”、“愿意”。否定式“気がしない”意为“没心思”、“不愿意”。△陰で悪口を言う奴に会う気がしない/不愿和背后讲人坏话的家伙见面。 6. (気がつく)(慣用語)意为“发觉”、“察觉”、“注意到”。△そんなつまらない事には気がつかなかった/没注意到那样无聊的事情。 7. (一ト本)一根，一株，一棵；系“一本(いっほん)”的文雅说法。 8. (のね)(终助词)由“の”和“ね”两个终助词重叠而成。用于征求对方同意，女子多用。△あしたは必ず来てくれるのね/明天你一定来啊。 9. (わ)(终助词)缓和语调，表示



那声音叫了她两三遍之后，小女孩才注意到叫她的原来是在杂草丛中勉强探出脑袋的一朵小小的菜花。

小女孩用披在头上的手巾擦一擦脸上的汗水说：

“你在这样的地方很寂寞吧？”

“是啊！”菜花亲昵地答道。

“那你为什么到这儿来呢？”小女孩带着责备的口吻说。

“种子粘在云雀胸部的羽毛上，掉落在这里的呀。真没办法！”菜花可怜地回答，并恳求她把自己带到伙伴众多的山下村子里去。

小女孩很同情菜花，一心想满足它的愿望。

---

委婉、亲切、感叹的语气。女子用语。△体の具合がよくないから、どこへも出かけないわ/身体不好，什么地方也不去啦。

10. (悲しげに) 面带愁容，悲伤地。げ(接尾词)：表示略带某种样子。“悲しげに”相当于“悲しそうに”。△親しげに物をいう/话说得很亲热。

11. (のさ)(终助词)由“の”和“さ”两个终助词重叠而成。表示略带感动的断定、疑问语气。△なぜだめになったのさ/为什么不成了呢？△つまらない話なのさ/废话！

12. (のよ)(终助词)由“の”和“よ”两个终助词重叠而成，表示(轻松地)引起对方注意，女子用语。△わたし来月帰国するのよ、帰る前に一度いっしょに写真を撮らないか/我下月回国，回国前一起拍一次照好吗？

13. (どうか……て下さい)(句型)表示客气地请求对方做什么，意为“请(求)你……吧”。△お願いですから、どうか中国画を一枚かいてください/求求你，请给我画一幅国画。

ねが <sup>かな</sup> 願いを叶えてやろうと <sup>かんが</sup> 考えました。そして <sup>しず</sup> 静かにそれを <sup>ね</sup> 根から <sup>ぬ</sup> 抜いてやりました。そしてそれを <sup>て</sup> 手に <sup>も</sup> 持って、<sup>やまみち</sup> 山路を <sup>むら</sup> 村の <sup>ほう</sup> 方へと <sup>くだ</sup> 14 下って <sup>い</sup> 行きました。

<sup>みち</sup> 路に <sup>そ</sup> 添うて <sup>きよ</sup> 15 清い <sup>ちい</sup> 小さな <sup>なが</sup> 流れが、<sup>みづねと</sup> 水音を <sup>たて</sup> たてて <sup>なが</sup> 流れて <sup>しばら</sup> いました。 <sup>しばら</sup> 暫く <sup>する</sup> すると <sup>16</sup>、

「<sup>て</sup> あなたの <sup>ずいぶん</sup> 手は <sup>な</sup> 随分 <sup>はな</sup> ほてる <sup>い</sup> のね」と <sup>な</sup> 菜の <sup>はな</sup> 花は <sup>い</sup> 云 <sup>い</sup> いました。「<sup>て</sup> あつい <sup>も</sup> 手で <sup>も</sup> 持たれる <sup>くび</sup> と、 <sup>くび</sup> 首が <sup>だる</sup> だる <sup>し</sup> くなって <sup>しかた</sup> 仕方が <sup>まつす</sup> ないわ、 <sup>まつす</sup> 真直ぐ <sup>まつす</sup> に <sup>まつす</sup> して <sup>まつす</sup> いら <sup>まつす</sup> ね <sup>まつす</sup> なくなる <sup>まつす</sup> わ」と <sup>い</sup> 云 <sup>い</sup> って、<sup>くび</sup> う <sup>こむすめ</sup> なた <sup>ほ</sup> だ <sup>ほ</sup> れた <sup>ほ</sup> 首 <sup>ほ</sup> を <sup>ほ</sup> 小 <sup>ほ</sup> 娘 <sup>ほ</sup> の <sup>ほ</sup> 歩 <sup>ほ</sup> 調 <sup>ほ</sup> に <sup>ほ</sup> 合 <sup>ほ</sup> せ、<sup>ちよう</sup> 力 <sup>あわ</sup> なく <sup>ちから</sup> 17 振 <sup>ふ</sup> っ <sup>ふ</sup> て <sup>ふ</sup> いて <sup>ふ</sup> ました。

<sup>こむすめ</sup> 小娘 <sup>ちよつと</sup> は <sup>ちよつと</sup> 一 <sup>とう</sup> 寸 <sup>わく</sup> 当 <sup>わく</sup> 感 <sup>わく</sup> じ <sup>わく</sup> ました。

<sup>しか</sup> 然 <sup>こむすめ</sup> し <sup>はか</sup> 小 <sup>はか</sup> 娘 <sup>はか</sup> に <sup>はか</sup> は <sup>はか</sup> 凶 <sup>がんが</sup> ら <sup>うが</sup> ず、<sup>うが</sup> いい <sup>うが</sup> 考 <sup>うが</sup> え <sup>うが</sup> が <sup>うが</sup> 浮 <sup>うが</sup> び <sup>うが</sup> ました。

<sup>こむすめ</sup> 小 <sup>み</sup> 娘 <sup>がる</sup> は <sup>み</sup> 身 <sup>み</sup> 軽 <sup>み</sup> く <sup>み</sup> 路 <sup>み</sup> 端 <sup>み</sup> に <sup>み</sup> 蹲 <sup>しやが</sup> ん <sup>だま</sup> で、<sup>だま</sup> 黙 <sup>な</sup> っ <sup>はな</sup> て <sup>ね</sup> 菜 <sup>ね</sup> の <sup>ね</sup> 花 <sup>ね</sup> の <sup>ね</sup> 根 <sup>ね</sup> を <sup>なが</sup> 流 <sup>なが</sup> れ <sup>なが</sup> へ <sup>なが</sup> 浸 <sup>なが</sup> して <sup>なが</sup> や <sup>なが</sup> り <sup>なが</sup> ました。

「<sup>な</sup> まあ <sup>はな</sup> 18! 」 <sup>い</sup> 菜 <sup>い</sup> の <sup>い</sup> 花 <sup>い</sup> は <sup>い</sup> 生 <sup>い</sup> き <sup>い</sup> 返 <sup>い</sup> っ <sup>い</sup> た <sup>い</sup> よ <sup>い</sup> う <sup>い</sup> な <sup>い</sup> 元 <sup>い</sup> 気 <sup>い</sup> な <sup>い</sup> 声 <sup>い</sup> を <sup>い</sup> 出 <sup>い</sup> して <sup>い</sup> 小 <sup>い</sup> 娘 <sup>い</sup> を <sup>い</sup> 見 <sup>い</sup> 上 <sup>い</sup> げ <sup>い</sup> ました。 <sup>い</sup> す <sup>い</sup> る <sup>い</sup> と、 <sup>い</sup> 小 <sup>い</sup> 娘 <sup>い</sup> は <sup>い</sup> 宣 <sup>い</sup> 告 <sup>い</sup> す <sup>い</sup> る <sup>い</sup> よ <sup>い</sup> う <sup>い</sup> に、

「<sup>なが</sup> この <sup>なが</sup> ま <sup>なが</sup> 流 <sup>なが</sup> れ <sup>なが</sup> て <sup>なが</sup> 行 <sup>なが</sup> く <sup>なが</sup> の <sup>なが</sup> よ」と <sup>い</sup> 云 <sup>い</sup> いました。

<sup>な</sup> 菜 <sup>はな</sup> の <sup>ふ</sup> 花 <sup>あん</sup> は <sup>くび</sup> 不 <sup>ふ</sup> 安 <sup>ふ</sup> そ <sup>ふ</sup> う <sup>ふ</sup> に <sup>ふ</sup> 首 <sup>ふ</sup> を <sup>ふ</sup> 振 <sup>ふ</sup> り <sup>ふ</sup> ました。 <sup>ふ</sup> そ <sup>ふ</sup> して、

「<sup>さき</sup> 先 <sup>なが</sup> に <sup>しま</sup> 流 <sup>こわ</sup> れ <sup>い</sup> て <sup>い</sup> 了 <sup>い</sup> う <sup>い</sup> と <sup>い</sup> 恐 <sup>い</sup> い <sup>い</sup> わ」と <sup>い</sup> 云 <sup>い</sup> いました。

14. (へと)格助词“へ”和格助词“と”的重叠。へ：表示动

她轻轻地把它从土里连根取出，握在手中，顺山路向村子方向走去。

清澈的小溪，流水潺潺，沿路边往下流淌。一会儿，“你的手真烫啊，”菜花说，“我被你捏得脖子酸疼难受，快挺不起来啦。”说着垂下了脑袋，随着小女孩的步伐无精打采地左右摇晃。

小女孩有点为难。

然而，小女孩想出了个好主意。她轻捷地在路旁蹲下，默默地把菜花根浸到溪水中。

“嘿！”菜花苏醒过来，发出宏亮的声音，仰视着小女孩。于是，小女孩恫吓它说：“就这样淌下去啦！”

菜花不安地摇摇头说：“一直淌下去，我怕！”

---

作方向；と：强调动作方向的继续。△前へ前へと進め/前进，继续前进！ 15. (路に添うて)沿路，顺着道路，添うて(方言)：等于东京语“添って”。 16. (暫くすると)过一会儿。する：这里相当于“たつ”，表示时间经过。△Aさんは二、三年するとまた上海に来るといった/A说：“过两三年再来上海。” 17. (力なく)无力地，无精打采地。“力”下面省略了主格助词“が”，“なく”是形容词“ない”的连用形，此种形式常用作句中状语。△仕方なく反撃をくわえた/无奈只得予以还击。△遠慮なく食べなさい/不用客气，吃吧。 18. (まあ)(感叹词)表示吃惊或感叹，多用于女子讲话中。△まあ、おどろいた/呀！吃了一惊。△まあ、すばらしい/嘿，好极了！

「心配しんぱいしなくてもいい<sup>19</sup>のよ」そう云いなが  
ら、早くも小娘こむすめは流れながの表面ひょうめんで、持もっていた菜な  
の花はなを離はなしてしまいました。菜なの花はなは、

「恐こわいわ、恐こわいわ」と流れながの水みずにさらわれなが  
ら、見みる見みる<sup>20</sup>小娘こむすめから遠とおくなるのを恐おそろしそ  
うに叫さけびました。が、小娘こむすめは黙だまって両手りょうてを後うしろへ  
廻まわし、背せで跳おどる目籠めかごをおさおさえながら、駈かけて来き  
ます。

菜なの花はなは安あん心しんしました。そして、さも嬉うれしそ  
うに<sup>21</sup>水すい面めんから小娘こむすめを見みあげて、何なにかと話はなしか  
けるのでした。

何処どこからともなく<sup>22</sup>気き軽がるな黄きちよう蝶とが飛とんで来きま  
した。そして、うるさく菜なの花はなの上うへをついて飛と  
んで来きました。菜なの花はなはそれをも大たい変へん嬉うれしがり  
ました<sup>23</sup>。然しかし黄きちよう蝶とは性せつ急きつで、移うつり気きでしたか  
ら、何いつ時またどと何と処いかへ飛いんで行しまってしまいました。

菜なの花はなは小娘こむすめの鼻はなの頭あたまにポツポツと玉たまのよう  
な汗あせが浮うかび出だしているのに気きがときました。

「今こんど度はあなくたが苦なしいわ」と菜なの花はなは心しん配ぱいそ

19. (てもいい)(慣用型)上接连用形, 意为“也可以”、“也行”、“也没关系”, 相当于“てもかまわない”。△いま質問していてもいいですか/现在可以提问吗? △すこしおくれて来てもいいですか/稍晚点儿来也行吗? 20.(見る見る)(副词)意为“眼看着”、“很快地”, 也说作“見る見るうちに”, 同“見るまに”或

“不用担心。”小女孩边说边松开手。“我怕呀！我怕呀！”菜花惊恐地喊道，被溪水带向前方，眼看离小女孩渐渐远了。小女孩不声不响地把两手向后伸去，按住在背上晃动的竹筐，跑了过来。

菜花放心了。它高兴地在水面仰望着小女孩，开始跟她攀谈起来。

不知从哪儿轻飘飘飞来一只黄蝴蝶，而且老盯着菜花飞舞。菜花很喜欢它。可是，黄蝴蝶性情急躁，不知何时又飞向什么地方去了。

菜花发现小女孩鼻尖渗出了点点珍珠般的汗水。

“这下可叫你受累啦！”菜花关切地说。可小女

---

“見ているうちに”。△飛行機は見る見る小さくなって雲の中に見えなくなってしまった/飞机越飞越远，不一会儿，穿入云层看不见了。 21. (さも嬉しそうに) 显得很高兴(似地)。さも(副词)：意为“仿佛”、“宛如”、“好象”。它与样态助动词“そうだ”相呼应，表示强调状态。△彼はさもうまそうに食べている/(看样子)他吃得很香。 22. (何処からともなく)(也)不知从何处。ともなく：接在疑问词加格助词下面，表示某状态、行为不知道何时、何地、由何人始发。△いつからともなく一寸法師についての民話が伝えられてきた/“小人法师”的民间传说不知何时开始传了开来。△どこへともなく立ち去った/不知到哪里去了。 23. (それをも大変嬉しがりました) それ：这里代替“黄蝶”。をも：格助词“を”和提示助词“も”的重叠，意思同“も”，相当于“さえも”。△彼は酒を飲み、タバコをも吸う/他喝酒，也吸烟。がる(接尾词)：接形容词和形容动词词干下，使之成为动词，表示第三人称的心情、愿望、心理活动。△たのしがる/感到愉快。△ふしぎがる/颇觉奇怪。

うに云いました。が、小娘は却って不愛想に、

「心配しなくてもいいのよ」と答えました。

菜の花は、叱られたのか<sup>24</sup> と思って、黙って  
了いました。

間もなく小娘は菜の花の悲鳴に驚かされまし  
た。菜の花は流れに波打っている髪の毛のよう  
な水草に根をからまれて、さも苦し気に首を振  
っていました。

「まあ、少しそうしてお休み<sup>25</sup>」小娘は息をは  
ずませながら、そう云って傍の石に腰を下しま  
した。

「こんなものに足をからまれて休むのは、気持  
が悪いわ」菜の花は尙しきりにイヤイヤをして  
いました<sup>26</sup>。

「それで、いいのよ」小娘は云いました。

「いやなの<sup>27</sup>。休むのはいいけど、こうしてい  
るのは気持が悪いの。どうか一寸あげて下さい。  
どうか」と菜の花は頼みましたが、小娘は、

「いいのよ」と笑って取り合いません。

が、その内水の勢で菜の花の根は自然に水草  
から、すり抜けて行きました。そして不意に、

24. [(の)か](終助詞)由“の”和“か”两个表示疑问的終助詞

孩却简慢地回答：“不用你担心！”

菜花受了申斥，默不作声。

不一会儿，小女孩听得菜花的呻吟声，大吃一惊。菜花根被水中起伏的头发般的水草缠住了，正苦恼地摇晃着脑袋。

“那就这样休息会儿吧。”小女孩气喘吁吁地说罢就在一旁的石头上坐了下来。

“让这种东西缠住脚休息很不舒服。”菜花不高兴地继续摇晃脑袋。

“就那样行啦！”小女孩说。

“不嘛。休息好是好，可是，这样怪不舒服的。拉我一把吧，求求你！”它恳求着。“行啦。”小女孩笑笑，不予理睬。

这时，由于水的冲力，菜花根渐渐离开了水

---

重叠而成，疑问语气比单用“か”强。△お化けて、ほんとうにいるのか/真的有妖怪吗？△ひよこにえさをやったのか/给小鸡喂过食了吗？ 25. (お休み)请你休息吧。下面省略了“ください”或“なさい”。 26. (イヤイヤをしていました) (小孩摇头)表示不愿意，不喜欢。△赤ん坊がいやいやをする/小孩不愿意地摇晃着脑袋。 27. (いやなの)不喜欢嘛。の(终助词)：接连体形下，表示较轻松的判断、主张(女子用语)或表示疑问(男女共用)，前者语调用降调，后者语调用升调。△進学しようか、おつとめしようか、まだきめかねているの/升学还是就业，我现在还拿不定主意。

なが おおい こえ をして な はな また  
「流れるう<sup>28</sup>！」と大きな声をして菜の花は又  
なが い きました しむすめ いそ た あが  
流されて行きました。小娘も急いで立ち上ると、  
それ<sup>29</sup>をおかだ  
それを追って駆け出しました。

すこ き ところ  
少し来た所で、

「やはりあなたが苦しいわ」と菜の花はコワゴ  
い  
ワ云いました。

なん こむすめ やさ こた  
「何でもないのよ」と小娘も優しく答えて、そ  
うして、な はな き も  
うして、菜の花に気を揉ませまいと<sup>30</sup>、わざと  
な はな に きんげん さき か い こと  
菜の花より二三間<sup>31</sup>先を駆けて行く事にしまし  
た<sup>32</sup>。

ふもと ひら み き こむすめ  
麓の村が見えて来ました。小娘は、

「もう直ぐよ」と声を掛けました。

「そう」と、うしろ な はな こた  
後で菜の花が答えました。

しばら はなし た ただなが おと まじ  
暫く話は絶えました。只流れの音に混って、  
ぱたぱた、ぱたぱた、と小娘の草履で走る足音  
こむすめ ぞうり はし あしおと  
が聴えていました。

チャポーンと云う<sup>33</sup> みずおと こむすめ あしもと  
水音が小娘の足元でしま  
した。な はな し ひめい  
菜の花は死にそんな悲鳴をあげました。  
こむすめ おどろ た どま み な はな  
小娘は驚いて立ち止りました。見ると菜の花は、

28. [流れるう]“流れる”后面加一长音“う”，表示引起别人注意即将发生某种危险情况。△石が上から落ちるう/石头从上面滚下来啦！ 29. (それ)指上句中的“菜の花”。 30. (気を揉ませまいと)想不让……着急。まい(文言助动词)：接未



草，突然菜花大声呼喊：“流啦！”它又被水冲走了。

小女孩急忙站起来，跑步追去。

小女孩走近了，菜花提心吊担地说：“又让你辛苦啊。”

“没什么。”小女孩亲切地回答，她为了不再让菜花着急，特地跑在它前面四、五公尺。

山脚下的村庄就在眼前，小女孩说：“马上就来啦。”

“是吗。”菜花在后边答道。

对话停了一会。这时，只有小女孩草履啪嗒啪嗒的响声和潺潺的溪水声。

“扑通。”小女孩脚边响起了落水声，菜花发出凄惨的悲鸣。小女孩惊愕地停住脚步一看，“快，快，”菜花挺着身子呼救，吓得花瓣和叶子几

---

然形下，表示推定或否定意志，意为“或许不会……吧”、“不想”、“不愿”，相当于口语“ないだろう”或“う(よう)と思わない”。该句中的“まい”表示否定意志，格助词“と”下面省略了“思”  
て”。 31.〔間〕日制长度单位，读作“けん”，“一間”为“6尺”(日本尺)等于公制1.818米。 32.〔事にしました〕(惯用型)意为“(主观上的)决定”、“决心”或“就算作”。△いろいろくらべて見て、この字引を買うことにした/作了各种比较之后、(我)决定买这部辞典。△この話は聞かなかったことにしよう/就算没听到这话吧。 33.〔と云う〕这、这种、的、所谓。△相对性原理という学説/相对论这一学说。△富士山という有名な山/富士山这座有名的山。